

令和5年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行	点検・評価	改善
鳥居 本 地 域	国道8号バイパスの整備促進	米原工区については、国において令和7年秋の供用開始に向けて工事が進められています。 また、先線（彦根～東近江）については、事業化に向けて都市計画決定の手続きが進められています。	予定どおり	彦根～東近江の区間については、令和6年度の都市計画決定の予定です。
	地域幹線道路の改良	市道内町三ツ割線道路改良事業について、国土交通省が施行する一般国道8号鳥居本地区歩道整備事業の進捗と整合を図り、用地補償を行いました。 一般国道8号鳥居本地区歩道整備事業について、国土交通省から用地取得事務の委託を受け、用地補償を行いました。	市道道路改良事業および国道歩道整備事業について、用地補償（用地取得事務）に着手しました。	市道道路改良事業について、国道歩道整備事業の進捗と整合を図り、推進します。 国道歩道整備事業について、用地取得事務を進めます。
	矢倉川などの河川改修による洪水対策	一級河川矢倉川の改修工事が県により進められました。	一定区間の工事が進められ、上流区間につきましては、事業準備区間に位置づけされています。	特になし
	中山道鳥居本宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進	景観に係る相談の際には、歴史街道（中山道）の特徴を紹介するなど、周辺景観との調和を求めるとともに、関係課などと協力して歴史的なまちなみの保全に寄与する空き町屋の利活用の推進に努めました。また、彦根市景観計画の改定に際して、景観まちづくりの推進を示すことを検討しました。	予定どおり	引き続き周知を図ることのほか、彦根市景観計画の改定に向けて作業を進めます。
	佐和山城跡の史跡指定とその活用	現在、史跡指定に向けて報告書の作成を進めています。	遅延しております。	事業を進めるため、滋賀県と連携を深め、指導・協力を得ます。
	彦根駅周辺への都市機能の集約と銀座街を中心とする中心市街地の活性化	立地適正化計画を策定し、彦根駅周辺への都市機能の集約化を図ります。 銀座街を中心とする中心市街地活性化については、銀座街まちづくり懇談会を開催し、銀座商店街のまちづくりについて話し合いを行いました。	予定どおり	今後も任意で銀座街まちづくり懇談会を毎月開催し、情報共有を行います。

令和5年度都市計画マスタープラン進行管理表

	実行	点検・評価	改善	
旧城下町地域	彦根駅前周辺道路のバリアフリー化による歩行者空間の機能向上	彦根駅前広場の再整備は、関連事業（彦根駅周辺 官民連携まちなか再生推進事業）の策定に伴い、整合を図りながら計画を見直すこととしました。	財源確保の課題から、事業を休止とします。	特になし
	（仮称）彦根総合運動公園と隣接する市管理の金亀公園の一体的な整備	県が整備を進める主会場との連絡橋の整備が完成し供用開始しました。これにより両公園の往来が可能となり、連携した活用が可能となりました。	予定どおり	施設整備が進むにつれ、公園利用者が増加し、駐車場が不足しています。その対策として今後、駐車場の拡張を行います。
	伝統的建造物群保存地区やその他城下町でのまちなみの保存・活用	彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区の歴史的まちなみを保存するため、国の補助制度を活用し、伝統的建造物の修理事業およびそれ以外の建築物の修景事業に対し、事業実施現場において施工者等へ修理等への指導・助言や協議を行いました。	予定どおり	特になし
	特別史跡彦根城跡内の観光駐車場の段階的な郊外移転とシャトルバス運行による彦根城周辺の観光環境の向上	彦根IC付近の駐車場と彦根城周辺を結ぶシャトルバスを運行させるパーク・アンド・バスライドの社会実験を平成29年度から令和4年度の6年間にわたり、計7回実施しました。	今年度の事業進捗はありません。	これまでの社会実験の結果を考慮し、今後の本格実施について検討していきます。
新市街地域	南彦根駅周辺への都市機能の集約	都市機能の集約化として、文化とスポーツの交流地域となる新市民体育センターの整備を進め、令和4年12月に供用を開始し、都市機能の集約化を図りました。	予定どおり	図書館の整備による、更なる都市機能の集約化を図ります。
	新市民体育センターの整備を中心とするまちの賑わい創出	新市民体育センターと地域交流センターの合築整備を契機とした、南彦根駅周辺地区における一体的かつ集中的なまちづくりを進めるために、都市再生整備計画（南彦根駅周辺地区）を策定しており、計画に沿った各種事業を実施しています。 令和5年度に新たな図書館の整備も含め、都市再生整備計画（南彦根駅周辺地区第2期）を策定しました。	予定どおり	南彦根駅周辺の更なる賑わい創出を実現します。
	JR岡町踏切付近の交差点の改良	JR岡町踏切付近の改良に向けて、用地取得および踏切道改良に関する協議を継続して行います。	用地取得に関する課題があります。	引き続き関係者および関係機関との協議を進めます。

令和5年度都市計画マスタープラン進行管理表

実行	点検・評価	改善		
都市計画道路大敷磯線の延伸	「彦根市道路整備プログラム」に整備着手優先路線として位置付けています。	今年度の事業進捗はありません。	特になし	
平田川や野瀬川の河川改修による洪水対策	一級河川野瀬川の改修工事が県により進められています。平田川については、改修について検討が行われています。	予定どおり	改修についての検討を引き続き行われる予定です。	
彦 根 駅 東 地 域	彦根駅東土地区画整理事業区域内の土地利用の促進	土地区画整理事業としては概成しており、換地処分は完了しました。	土地利用促進に向け、現在模索中です。	彦根市立地適正化計画との整合を図りながら、未利用地の有効利用を目指します。
	野田山地区における工業系用途地域の低未利用地への企業誘致	立地希望があった企業に対して、用地紹介を行いました。 また、企業立地促進条例による助成制度を企業に活用いただけるように制度の周知を図り、企業における用地開発を支援しています。	立地希望企業に紹介可能な物件については、既に随時紹介していますが、造成済みで紹介可能な未利用地はごく少ない状況です。	引続き用地情報の取得に努め、企業立地促進条例の活用等により、企業の用地開発を促進していく必要があります。
	国道306号バイパスの整備と彦根IC付近の市道拡幅	国道306号バイパス（都市計画道路原松原線）は、令和6年度の供用開始を目標として、県において工事が進められております。 周辺の市道拡幅については、バイパスに伴う市道改良が県により進められており、市においては関連する市道整備を行います。一部区間において設計および工事等を実施しました。	予定どおり	国道306号バイパスについては、令和6年度の供用開始を目標とされており、彦根IC付近の市道拡幅についても整合を図り、令和6年度の供用開始を目指します。
	彦根IC付近でのパーク・アンド・バスライド駐車場の整備	パーク・アンド・バスライド駐車場の整備に向けた国の支援事業の適用について検討を進めており、様々な支援事業の中から最適な方法を検討している状況です。	今年度の事業進捗はありません。	引き続き最適な方法を検討していきます。
	幹線道路の後背地などでの住居系用途地域への見直し	居住機能と生活サービス機能のバランスがとれた住宅地とするため、用途地域の変更など土地利用の規制・誘導を検討します。	今年度の事業進捗はありません。	今後、用途地域の変更を実施する予定です。
南彦根駅周辺への都市機能の集約	彦根市立地適正化計画の中間見直しを行い、旧ひこね燦ばれすを図書館として有効活用することにより、南彦根駅周辺の核として、スポーツ・文化・健康・子育てのほか、図書館サービスの充実を図るため、図書館を誘導施設として設定しました。	予定どおり	今後も都市機能の集約につながるよう努めます。	

令和5年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行	点検・評価	改善
南彦根駅東地域	高宮地区における工業系用途地域の低未利用地への企業誘致	立地希望があった企業に対して、用地紹介を行いました。 また、企業立地促進条例による助成制度を企業に活用いただけるように制度の周知を図り、企業における用地開発を支援しています。	立地希望企業に紹介可能な物件については、既に随時紹介していますが、造成済みで紹介可能な未利用地はごく少ない状況です。	引き続き用地情報の取得に努め、企業立地促進条例の活用等により、企業の用地開発を促進していく必要があります。
	彦根口駅の駅舎整備	近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会において、他の施設等を含め検討を進めます。	予定どおり	引き続き検討を進めます。
	公共下水道雨水幹線整備による洪水対策	高宮新川排水区において、整備に向けた協議を関係機関（国道）と行ないました。	予定どおり	関連する国道8号歩道整備と整合を図りながら事業を進めます。
	中山道高宮宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進	景観に係る相談の際には、歴史街道（中山道）の特徴を紹介するなど、周辺景観との調和を求めるとともに、関係課などと協力して歴史的なまちなみの保全に寄与する空き町屋の利活用の推進に努めました。また、彦根市景観計画の改定に際して、景観まちづくりの推進を示すことを検討しました。	予定どおり	引き続き周知を図ることのほか、彦根市景観計画の改定に向けて作業を進めます。
河瀬地域	河瀬駅周辺での居住促進	居住誘導の促進に向け、平成30年3月に策定した彦根市立地適正化計画に基づき、緩やかな集約都市の形成を図るため、立地適正化計画の周知を図りました。	予定どおり	引き続き周知を図っていきます。
	河瀬公園の整備	概ね整備が完了し、全面供用開始しました。	概ね達成	引き続き未整備箇所の整備を行うとともに、適切な維持管理に努めます。
	荒神山公園の機能強化	公園利用者の利便性向上に努めています。	予定どおり	引き続き公園利用者の利便性向上に努めます。
	市街化調整区域における集落コミュニティの維持のための地区計画の検討	市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で既存集落型地区計画を位置付けています。	今年度の事業進捗はありません。	市街化調整区域における地区計画制度の運用基準の周知を図っていきます。

令和5年度都市計画マスタープラン進行管理表

実行	点検・評価	改善	
<p>良好な農地や荒神山などの自然景観の保全</p>	<p>河瀬駅自由通路で史跡荒神山古墳等のパネル展示を実施し、荒神山の古墳をめぐる歴史探索ウォークや発掘調査現地説明会を行うことで啓発と公開に努めています。「滋賀の眺望景観ビューポイント」の一つに荒神山が選ばれたことから、周知啓発を行いました。また、彦根市景観計画の改定に際して、大切にしたい景観保全のひとつとして、眺望景観の基本方針を示すことを検討しました。</p>	<p>予定どおり</p>	<p>貴重な眺望景観を守るため引き続き周知を図ることのほか、彦根市景観計画の改定に向けて作業を進めます。</p>
<p>稲枝駅周辺での公共交通の利便性の向上</p>	<p>平成31年4月から、湖東圏域地域公共交通再編実施計画に基づき運行しています。令和5年度中においては、湖東圏域地域公共交通計画策定に伴い、稲枝駅周辺の公共交通についても再検討しました。</p>	<p>予定どおり</p>	<p>令和5年度中に策定した湖東圏域地域公共交通計画に基づき、現状の運行の維持することとしておりますが、将来の稲枝地域に必要な公共交通については引き続き検討する必要があります。</p>
<p>稲枝駅周辺での居住促進</p>	<p>居住誘導の促進に向け、平成30年3月に策定した彦根市立地適正化計画に基づき、緩やかな集約都市の形成を図るため、立地適正化計画の周知を図りました。</p>	<p>予定どおり</p>	<p>引き続き周知を図っていきます。</p>
<p>稲枝地域 稲枝駅西側地区の都市計画公園の整備を含むまちづくりの推進</p>	<p>稲枝駅西側地区に都市公園を整備するため、過年度に策定した基本計画に基づき、基本設計を行いました。また、稲枝公園（地区公園）として都市計画決定をしました。</p>	<p>予定どおり</p>	<p>都市公園の整備については、基本設計に基づき詳細設計を行います。今後も、企業立地などの地域の活力の拠点として土地の有効活用ができるように地域と協力して取り組みます。</p>
<p>市街化調整区域における集落コミュニティの維持のための地区計画の検討</p>	<p>市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で計画明示型地区計画、既存集落型地区計画を位置付けています。</p> <p>計画明示型地区計画では、稲枝駅西側地区地区計画を令和5年1月に都市計画決定を行いました。</p> <p>既存集落型地区計画では、下石寺町地区地区計画の都市計画決定に向けて手続きを進めています。</p>	<p>予定どおり</p>	<p>稲枝駅西側地区地区計画については、この地区計画を第一歩として、今後の稲枝駅西側地区のまちづくりの推進に向けて地域の意向を十分汲み取りながら、進めていきます。</p> <p>下石寺町地区地区計画については、令和6年度の都市計画決定に向けて手続きを進めていきます。</p>
<p>幹線道路沿道での「道の駅」の整備検討</p>	<p>未着手</p>	<p>今年度の事業進捗はありません。</p>	<p>必要性に応じて研究を行います。</p>